

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	選択
担当教員			
新井 悦子			

講義概要	<p>①言葉の機能 言葉の獲得・発達の基礎を作るもの          ②幼稚園教育要領・保育所保育指針の領域「言葉」          ③初語の頃までの発達の特徴 乳幼児期の発達の特徴 乳幼児期の言葉の発達過程について概観          ④子ども理解 遊びの中での関わり方 活動の中での関わり方          ⑤絵と言葉の豊かな世界（絵本、紙芝居）劇や物語（パネルシアター、エプロンシアター、ペープサート等）          想像や言葉のリズム（素話・言葉遊び）</p>
授業計画	<p>1 領域「言葉」とは何か 領域「言葉」のねらいと内容</p> <p>2 言葉の発達 ①初語のころまで 新生児の持つ力と知り、話しことば出現以前の行動を知る</p> <p>3 言葉の発達 ②幼児期前期 子どもの発語意欲をどのように育てるか話し合う</p> <p>4 言葉の発達 ③幼児期後期 言葉遊び、ごっこ遊び等、自分の遊ぶ楽しさに気づく</p> <p>5 言葉の発達 ④言葉の背景にあるもの 言葉の発達を支える環境について考える</p> <p>6 子どものことばと保育者 子どもとの信頼関係を強める共感の言葉について考える</p> <p>7 特別な配慮の必要な子ども 援助の仕方や対応の仕方について考える</p> <p>8 歌や触れ合いを楽しむ遊び わらべうたや手遊びなどが育てるものについて理解する</p> <p>9 児童文化と内容 ①絵と言葉の世界 絵本や紙芝居は何を育てるか考える</p> <p>10 ②劇や物語 パネルシアター、エプロンシアター、ペープサート、人形劇の実演技術を身につける</p> <p>11 ③想像や言葉のリズム 素話・言葉遊びの教育的効果について整理する</p> <p>12 ④お話会の計画 グループ発表会の計画を立てる</p> <p>13 ⑤お話会の準備 グループ発表会の練習と準備</p> <p>14 ⑥お話会の実施 グループ発表・個人発表</p> <p>15 復習・総まとめ これまで学習してきた内容の確認</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①人間形成における言葉の役割と意義を理解する          ②領域「言葉」について理解する          ③乳幼児の言葉の獲得過程と発達段階を理解する          ④乳幼児期の発達段階にふさわしいことばの指導法を学ぶ          ⑤児童文化財の中から素材を選択し、実演する事によって基本的な言葉技能を身につける</p>
教科書・参考書	<p>テキスト：『保育内容・言葉』 太田光洋 編著 同文書院          参考書：必要に応じて資料を配布</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	